

経営比較分析表（令和3年度決算）

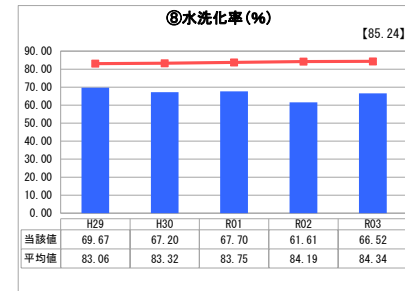
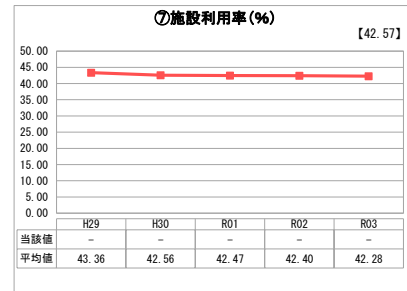
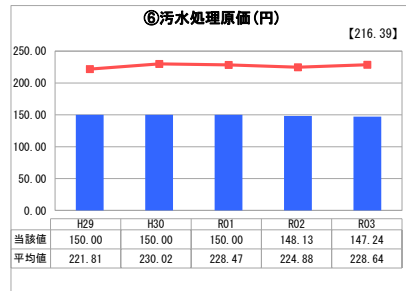
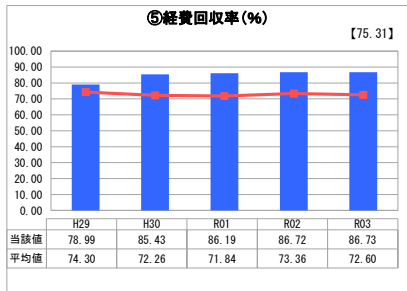
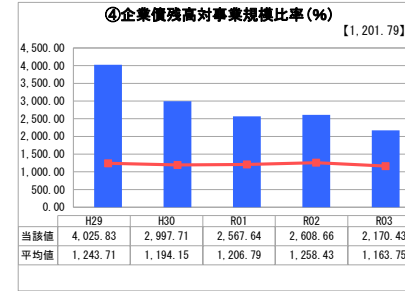
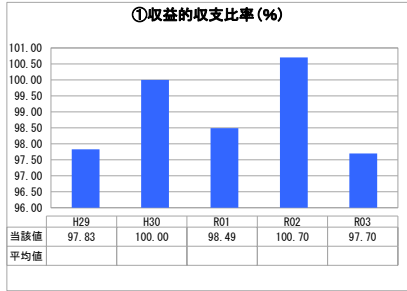
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.84	97.12	2,145

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,390	38.64	475.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,718	1.16	2,343.10

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
令和3年度は令和2年度に比べ、3.00%減少した。地方債償還金が2,919千円増加していることが主な要因である。本事業は事業開始以降、施設の新規建設を続け、その財源として地方債を発行しており償還額は増加傾向にある。

④企業債残高対事業規模比率
令和3年度は前年度と比し、438.23%減少した。全体的にも減少傾向にある。これは、地方債現在高が減少傾向にあるためである。

⑤経費回収率
使用料収入及び汚水処理費に大きな変化がなく、比率にほとんど変化がない。

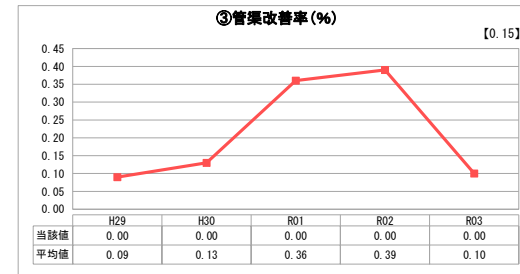
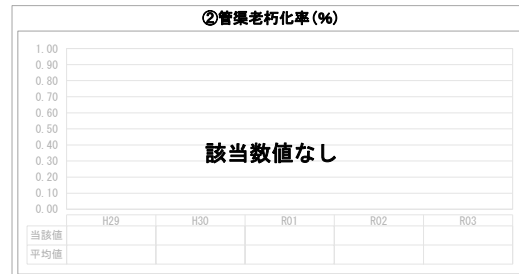
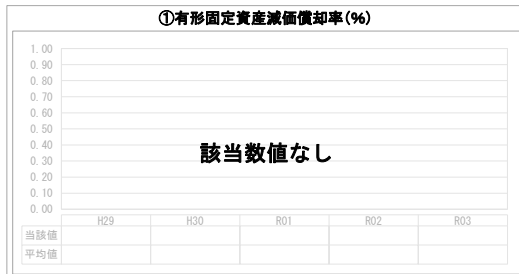
⑥汚水処理原価
ほぼ横ばいで推移しているが、令和2年度以降わずかに減少が認められる。これは主に有収水量の増加によるものである。令和2年度に供用開始した区域の接続件数の増加と依然として新型コロナウイルス感染症の影響で一般家庭の在宅時間が感染拡大前と比べて長いことが、有収水量の増加に繋がったと考えられる。

⑧水洗化率
令和2年度は新区域の供用開始により令和元年度と比べ6.09%減少したが、接続が進んでおり令和3年度は前年度比4.91%増加した。

2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られないが、20か30年後には管渠の老朽化が生じてくると思われる。これに備えて今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

収益的収支比率、経費回収率及び汚水処理原価は昨年度とほぼ同じである。企業債残高対事業規模比率は昨年度と比べ減少した。経営状況の悪化は見られないが、今後も接続促進や経費節減を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。